

## 令和4年度 香川県栄養士会生涯教育研修会(振替・職域研修会)

\* 個別申し込み書の提出が必要です

2022.6.1現在

	月/日	場所	時間	研修項目	研修スタイル	テーマ	講師		目的・内容	単位						
							役職&氏名	形式		基本		実務		振替		
										必須	基本	講義	演習			
ステップアップ研修会	8/21 (日)	仏生山交流センター	9:30 ～12:00	(振替) 実務 T90-204	会場のみ	「アサーション ～自分も相手も大切に自己表現法～」をテーマにABD(アクティブ・ブック・ダイアログの略)の手法を用いた演習	香川県栄養士会 職域部長 岡野 幸代	会場	栄養専門職としてのスキルアップを図るとともに会員同士の親睦を深めることを目的とし、全会員を対象としたステップアップ研修会を開催するものである。 前半は、「アサーション ～自分も相手も大切に自己表現法～」をテーマにABD(アクティブ・ブック・ダイアログの略)の手法を用いた演習を行う。ABDとは、1冊の本を分担して読んでまとめる、発表・共有化する、気づきを深める対話をするというプロセスを通して、著者の伝えようとすることを深く理解でき、能動的な気づきや学びが得られる手法である。 後半は、グループワーク(職域ごと、地域ごと)によって情報交換する。各職域の紹介は資料にして配布する。						基本 (演習) 1	
職域研修会	9/3 (土)	仏生山交流センター	13:15 ～14:45  15:00 ～16:30	実務 T、FS23-121 T、FS46-205	会場のみ	フレイル予防と効果的なたんぱく質の取り方	香川県栄養士会 地域活動部副リーダー 六車 美代子	会場	高齢社会の中で知らず知らずフレイルになっている方も多いためです。フレイルを知らない所から予防の意味も込めてたんぱく質のとり方を考えます。				1			
						調理実習 大豆ミートとオートミールの勉強会と調理実習	地域活動部 (賛助会員)尾家産業様	会場	大豆ミートを使ったハンバーグ等(他、大豆ミートの団子(冷凍食品試食)オートミールと白米で作ったチャーハンを食べ比べる他、数点地域活動部役員と尾家産業様でメニューを考案(デザート・嚥下食等)					0.5		
	未定	未定	未定			(公衆衛生部)	(公衆衛生部)		未定							
香米DAT養成講座	8/21 (日)	仏生山交流センター	13:00 ～17:00	基本 6-1	会場のみ	<第1回:基礎編> シンポジウム:テーマ「大規模災害に備えた対応～初動体制を考える～(仮)」	香川県危機管理課、行政栄養士(県、市町)、JDA-DAT、栄養士会等	会場	集中豪雨や地震、台風被害等、いつ、どこで大規模災害が発生するかわからない状況の中、栄養士・管理栄養士が、職場、地域、家庭等で、発災後の時期に応じて迅速に、かつ多様な状況に適切に対応できるよう「災害時栄養・食生活支援マニュアル」(改訂)を理解し、専門知識や技術を身につけるとともに、さまざまな部署や地域での連携を深める。 なお、本研修会は「香米DAT」のスタッフ養成研修を兼ねるものとし、(基礎編)と(実践編)を受講したものに修了証を交付する。				1			
	9/11 (日)	仏生山交流センター	10:00 ～16:00	実務 (講義)P、R、G、 KS、K、P、T、FS、 FG61-102 (演習)P、R、G、P、 T、FS、FG61-202	会場のみ	<第2回:実践編> 午前:災害発生後3日間の献立を考えよう! 午後:講義及び演習「アクションカードの作成(仮)」	JDA-DAT	会場					1	1		
在宅訪問栄養士研修会	10/1 (土)	仏生山交流センター	9:30 ～12:40	演習 FS46 205	会場のみ	在宅訪問栄養入門 在宅訪問栄養を実施するに必要な知識と技術	医療法人聖真会清南病院 栄養科主任 黒石 美由紀	Web	対象者の状況を判断し、実用的な調理、食事指導の進め方の検討 ・在宅医療についての基本・在宅訪問栄養の必要性と背景・在宅訪問栄養の制度 ・訪問を実施する際の大切なこと・実際の症例と現状と課題・症例検討							実務 (演習) 1
			13:30 ～16:40	演習 FS23 118	会場のみ	摂食嚥下機能を理解する 機能や構造から障害者、高齢者分野について歯科医師から栄養士に伝えたいこと	あやの子どもの食べること研究所 代表 綾野 理加	会場	摂食機能は離乳期に発達獲得する。この獲得した機能を用いて成人、高齢者になるまで食べることを行っている。成人、高齢者の摂食嚥下障害は疾患や加齢が原因で獲得した摂食機能が障害されたり減退されることで食べること飲み込むことが困難になる。 摂食嚥下障害への対応を知る上で解剖学的構造や摂食機能を知ることは必要である。今回、栄養士の皆さんへ知っていただきたい摂食嚥下障害の機能や構造から対応へつなげることができるような内容をお話しする。						実務 (講義) 2	